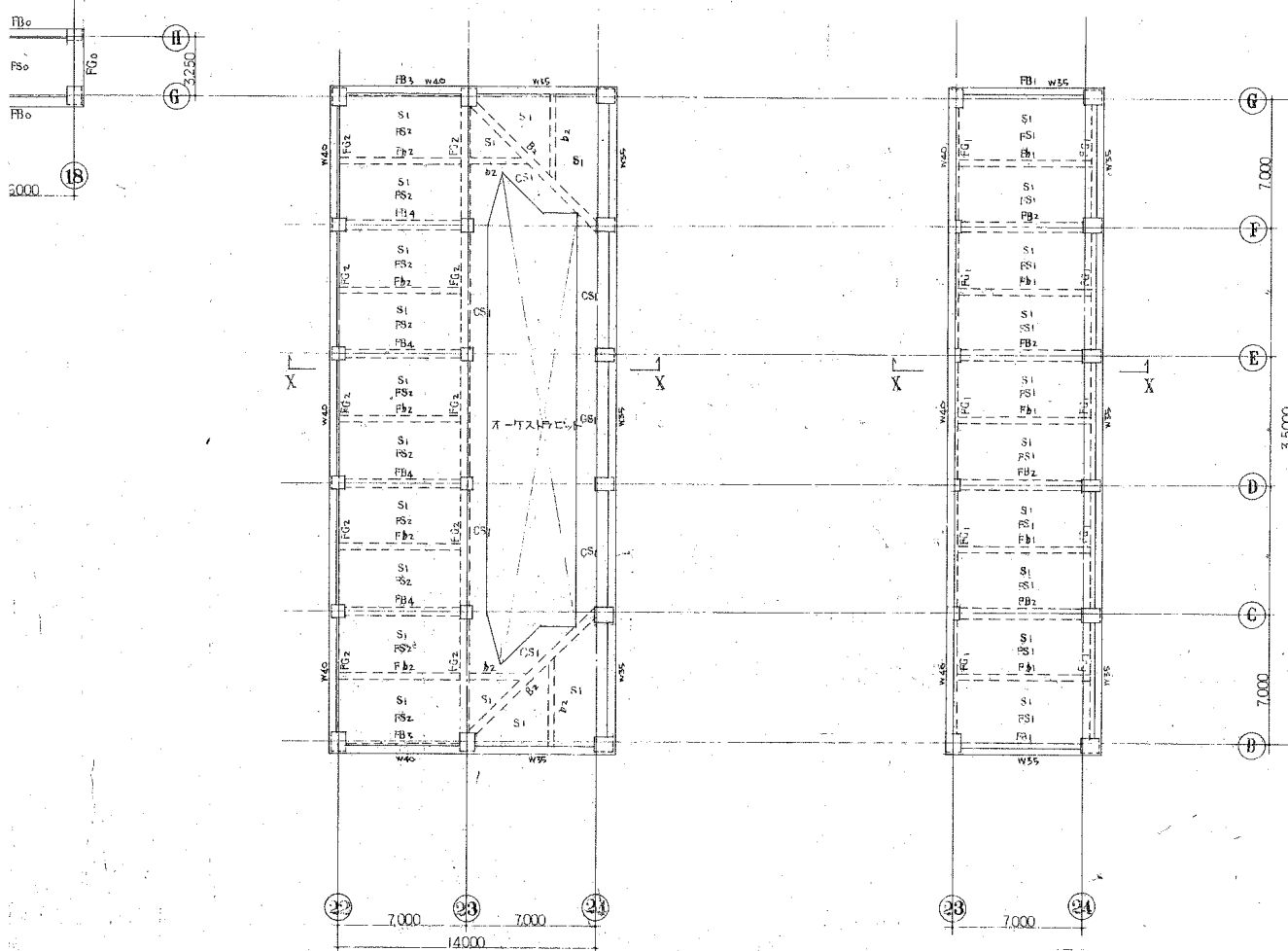
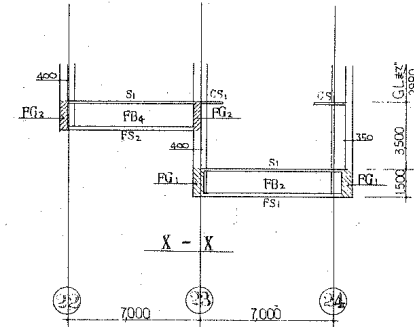
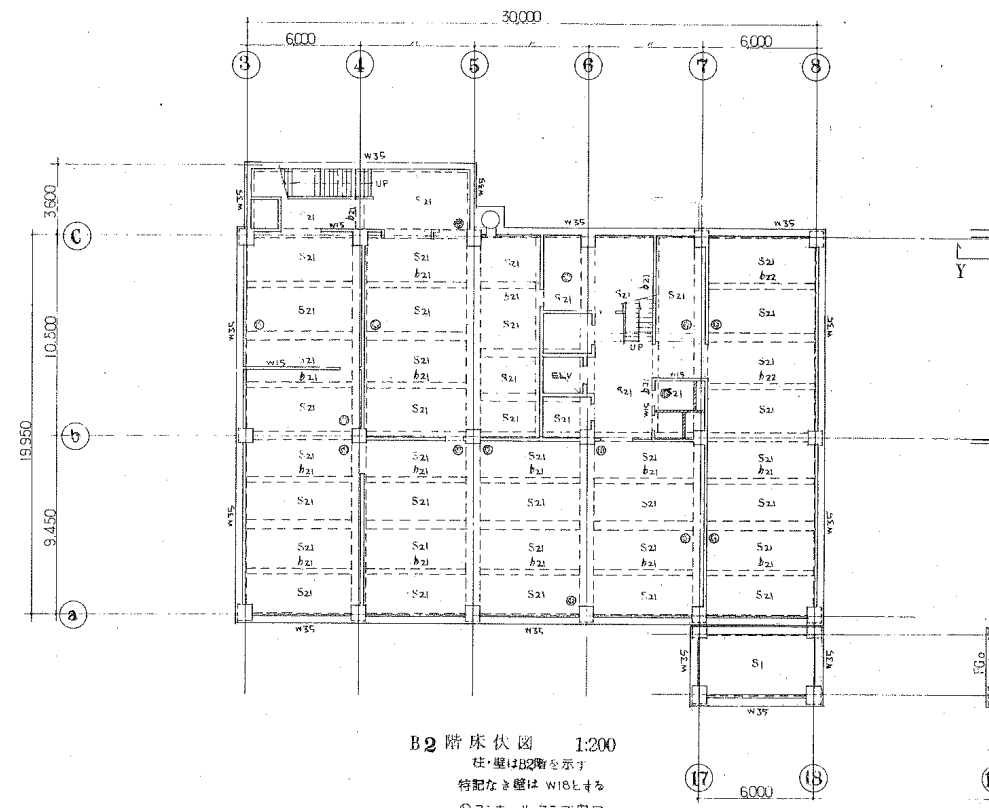


階床伏図 1:200
●●はB1階を示す
▲は壁はW18を示す

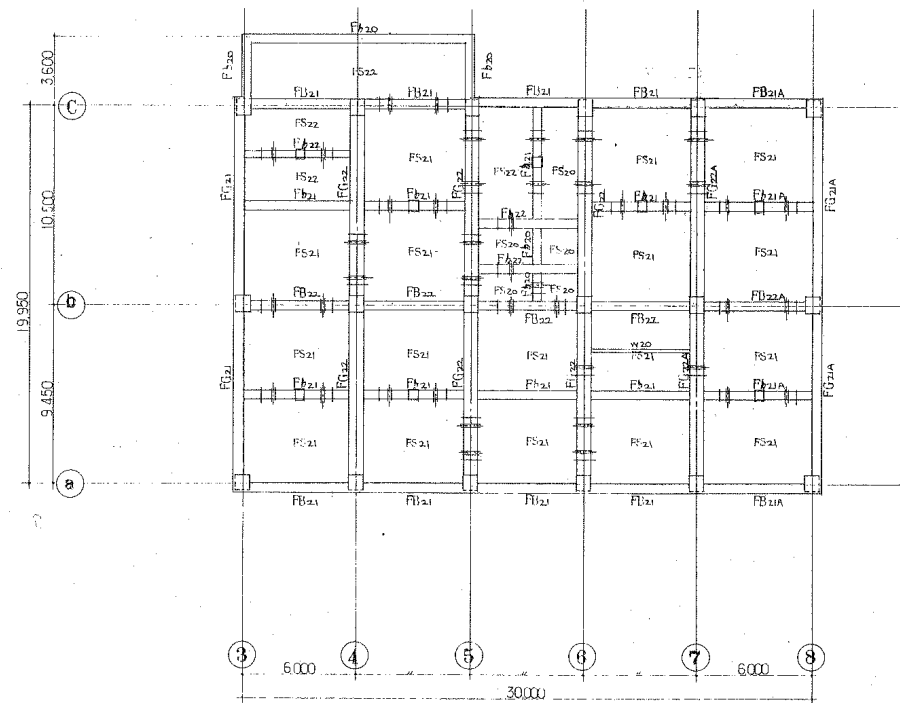


B1階床伏図 基礎伏図 1:200
スラブ筋線Sは上部スラブを示す
FSは下部



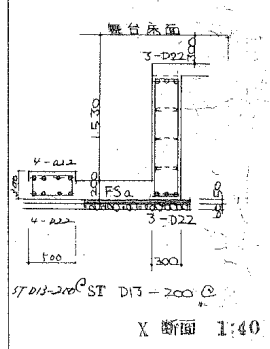
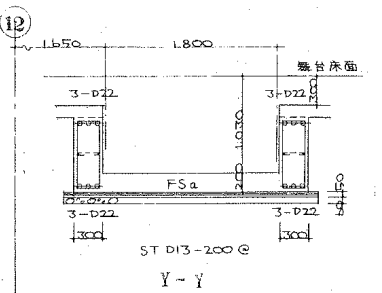
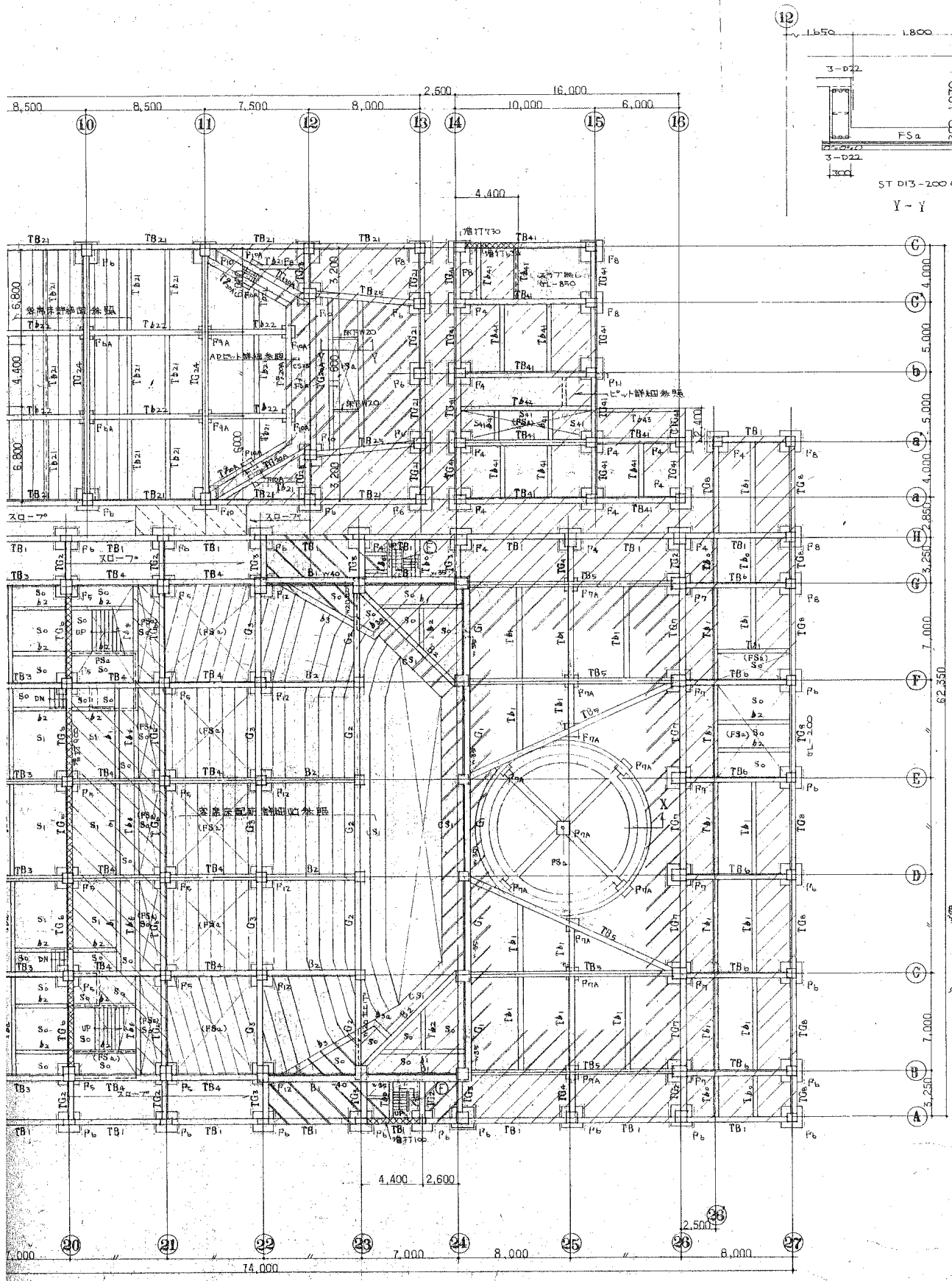
B2階床伏図 1:200

柱・壁は比尺を示す
 特記なき壁は W15Lとする
 ◎マンホール、スラブ開口



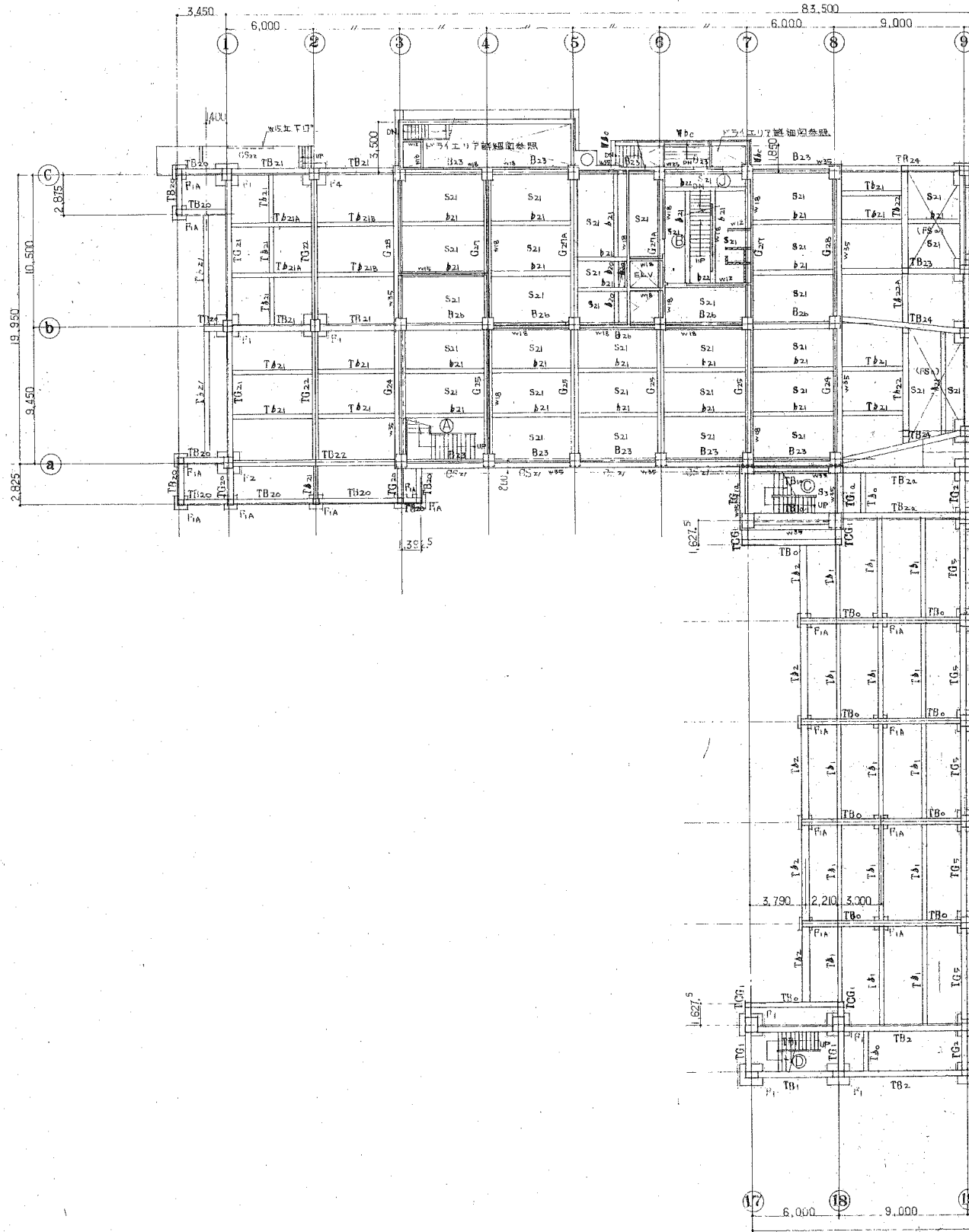
基礎伏図 1:200

基礎掘削及び基礎
 — 100φ 43
 - - - 300φ 43
 □ 500φ 8
 MT S4



床及び梁高低差

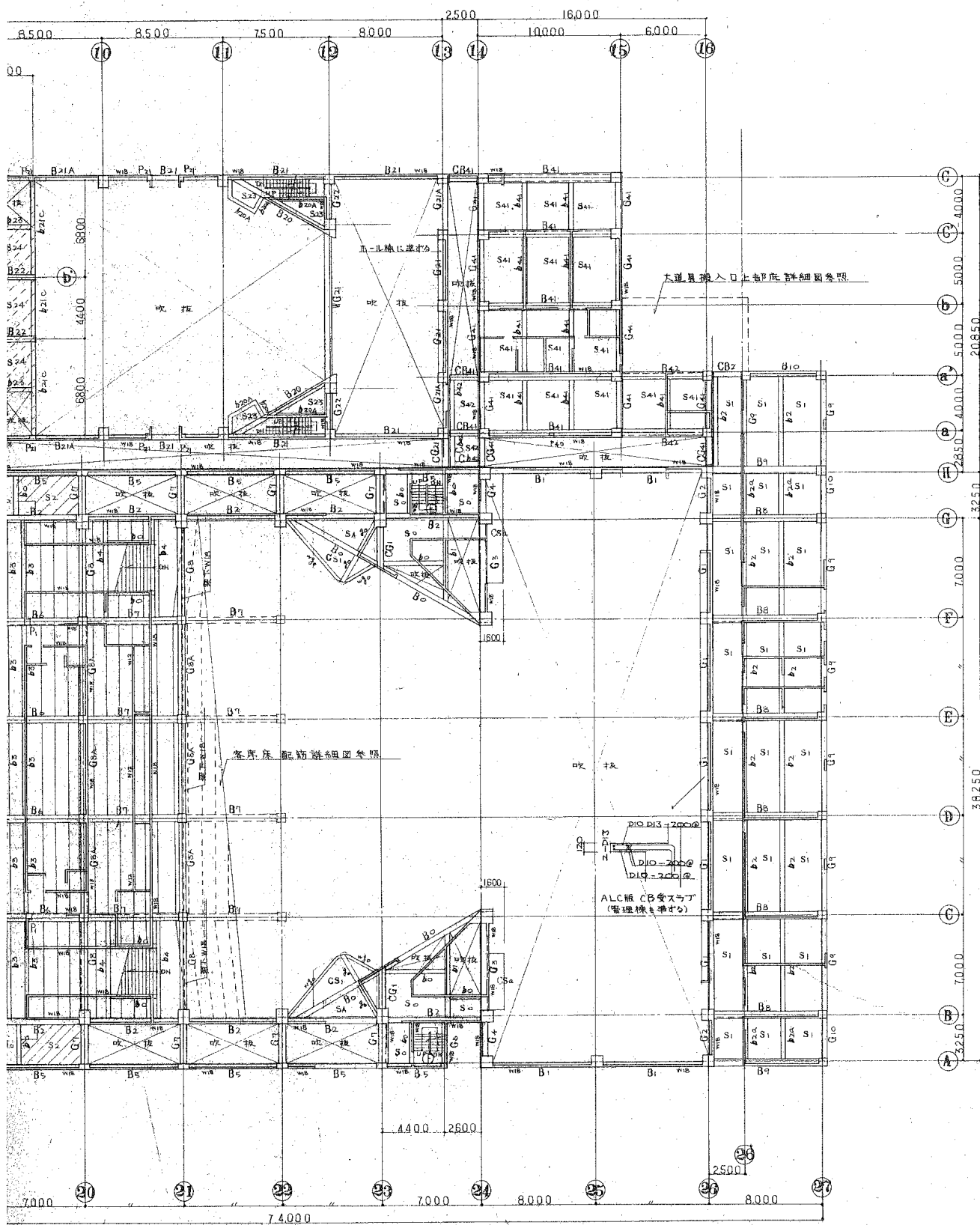
[Hatched Pattern]	GL + 1,200 (コンクリート天端)	GLは都度軒高を示す。
[Hatched Pattern]	GL + 300 (" ")	
[Hatched Pattern]	GL + 120 (" ")	
[Hatched Pattern]	GL + 20 (" ")	
[Hatched Pattern]	GL - 40 (" ")	
[Hatched Pattern]	GL - 200 (" ")	
[Hatched Pattern]	GL - 230 (" ")	



基礎伏図 1階梁伏図 1:200

1階梁1階を示す。

特記なき限りスラブは、蓋スラブとする。

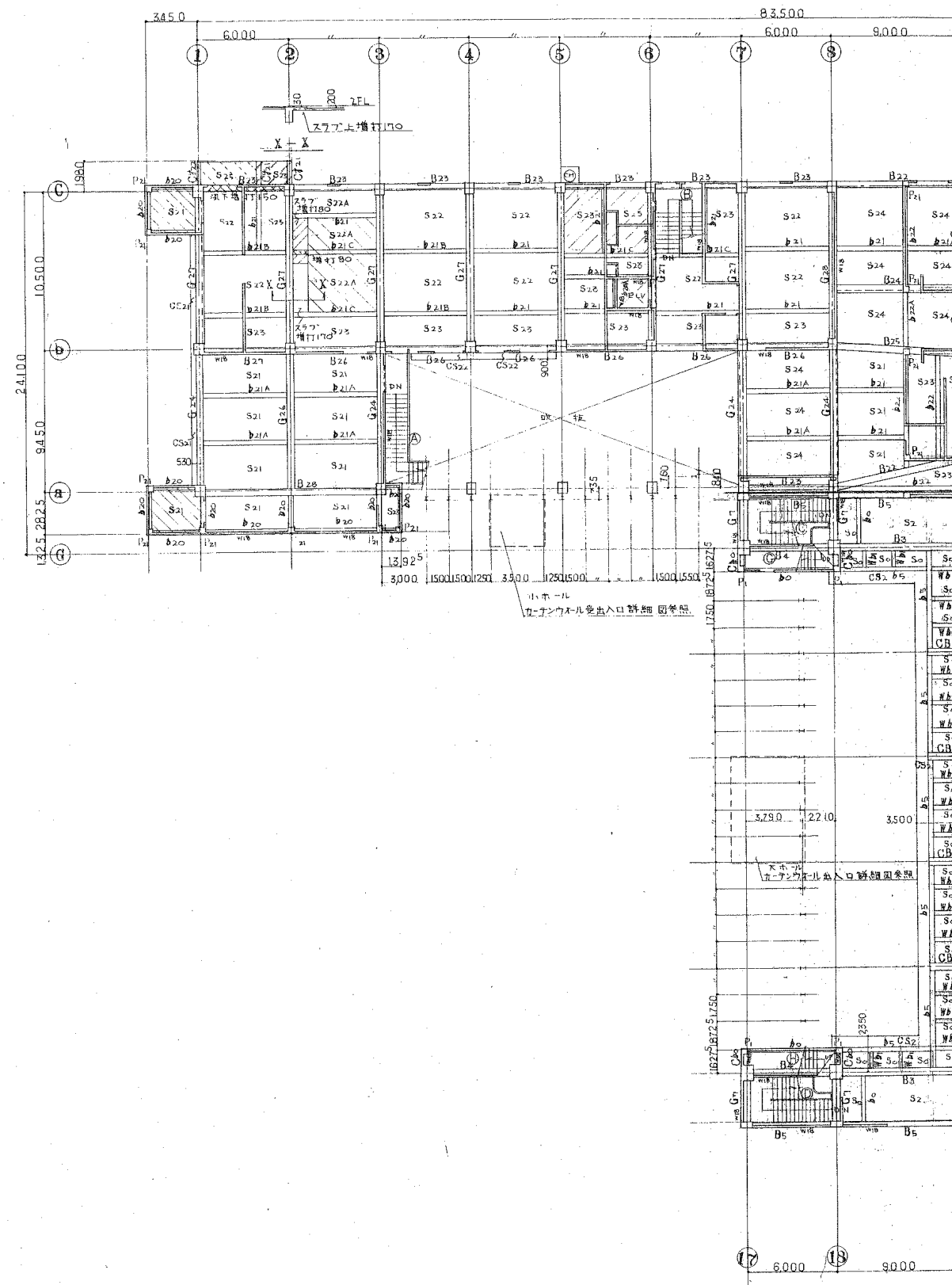


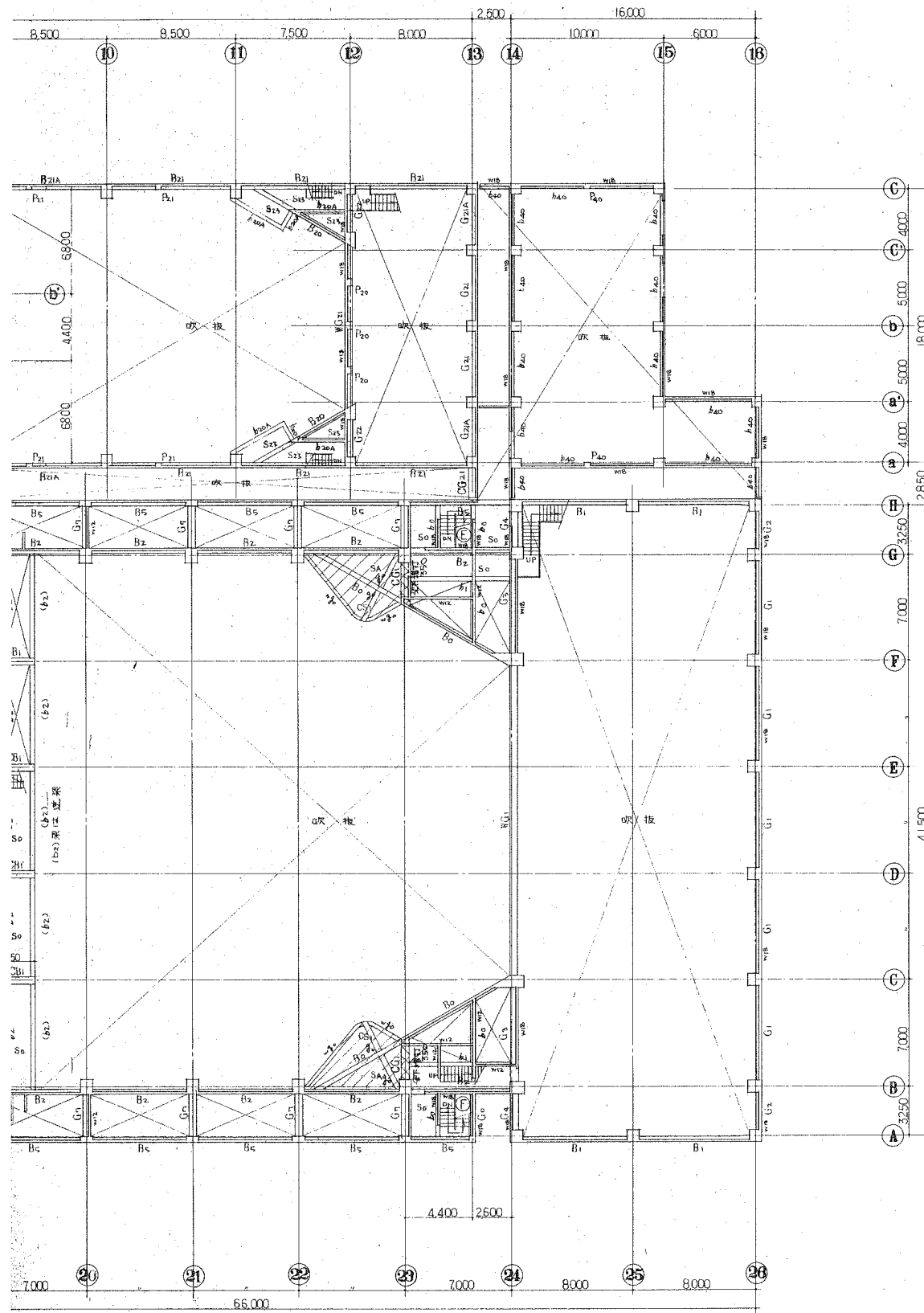
2階梁伏図 1:200

柱・梁は1階を示す
特別な注記は無し

床及び梁高位置

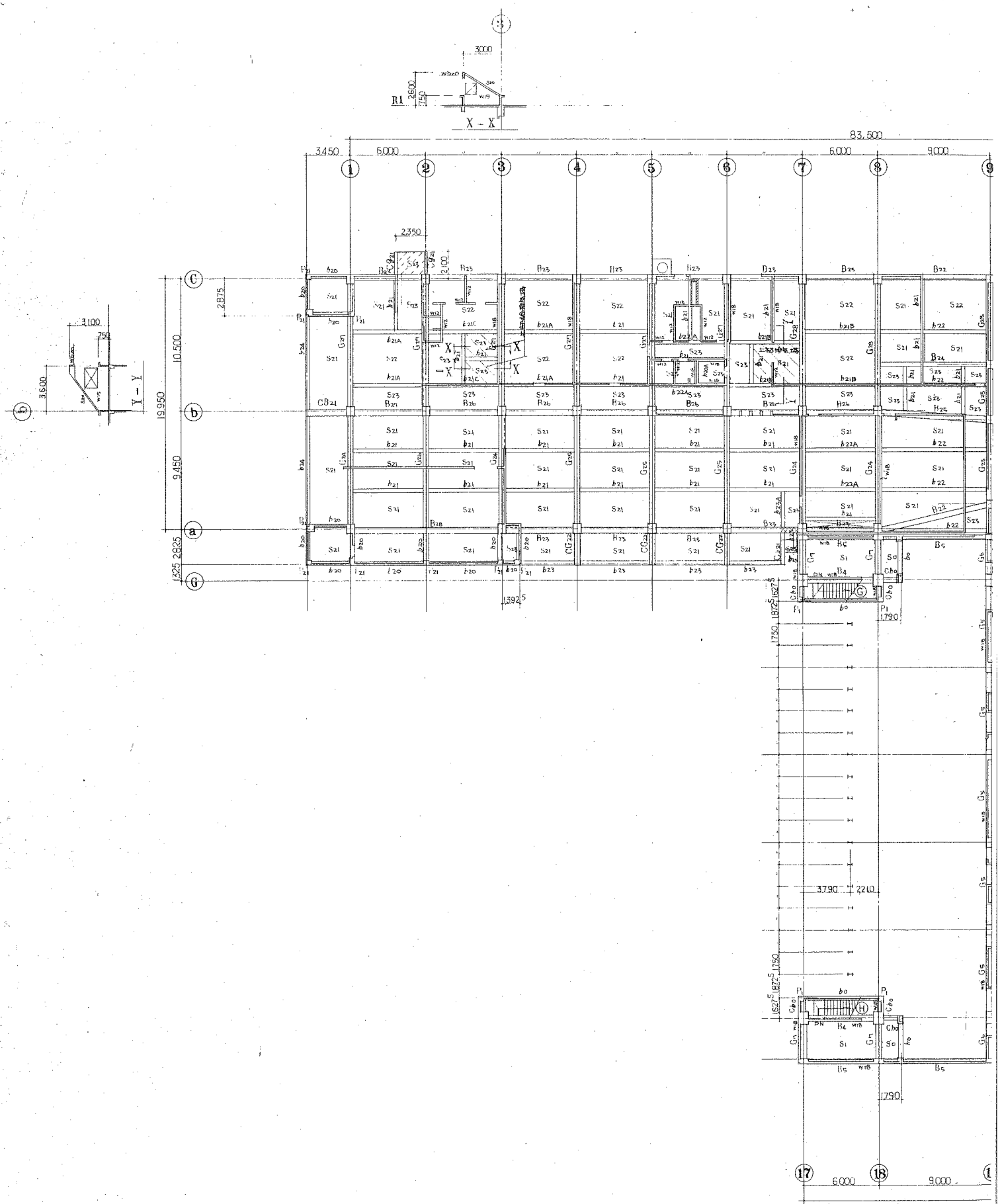
- FL-30 (コンクリート床) 但し空調機械室はFL-SL
- FL-120
- FL-150
- FL-200
- FL-730
- FL+970





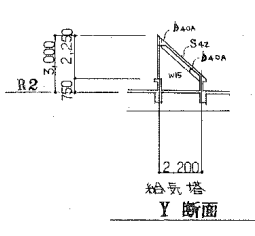
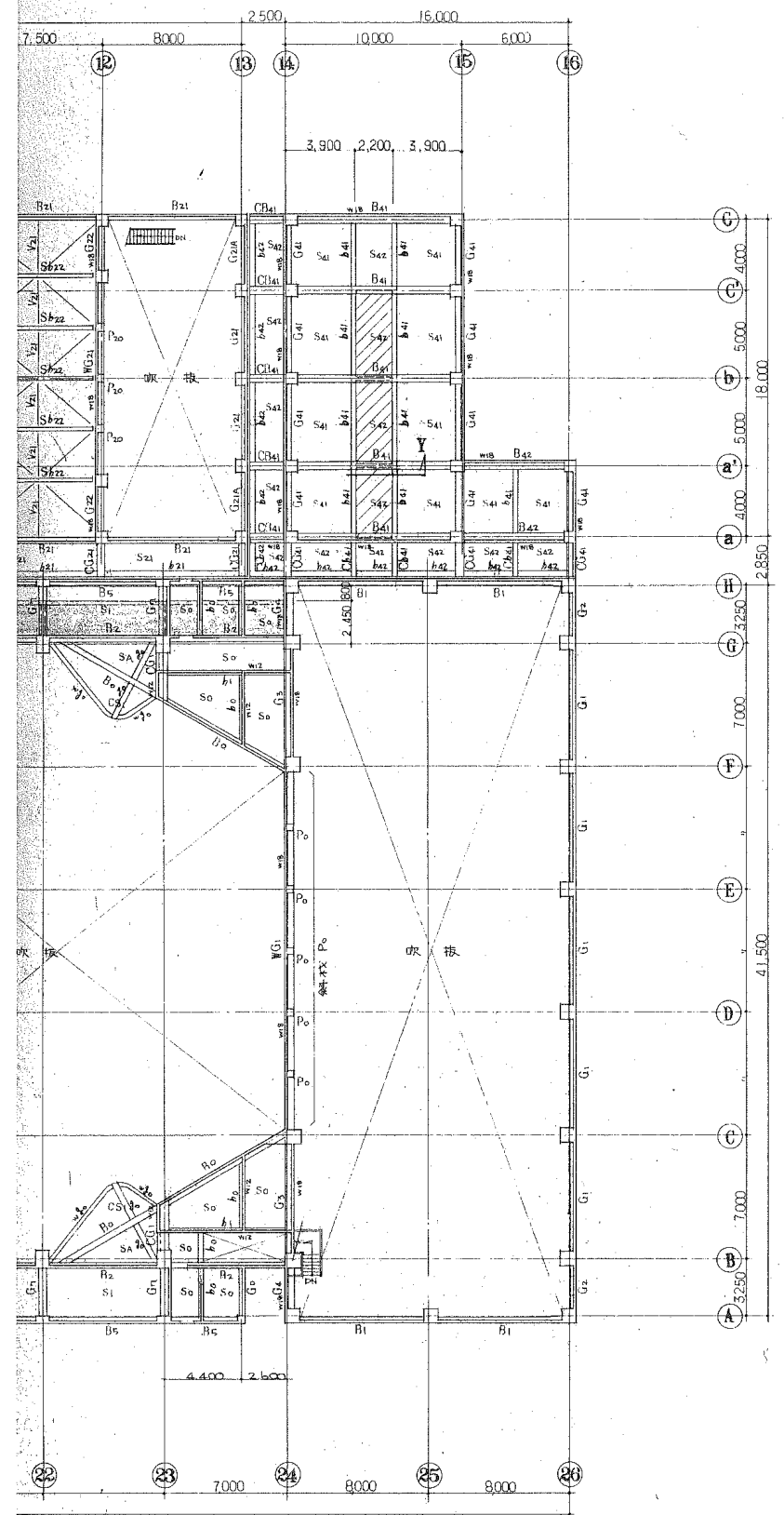
床及び梁高低差

- 3FL=SL
- ▨ 3FL-500
- ▩ R1FL(水下)-500、C921梁先端R1FL(水下)-360

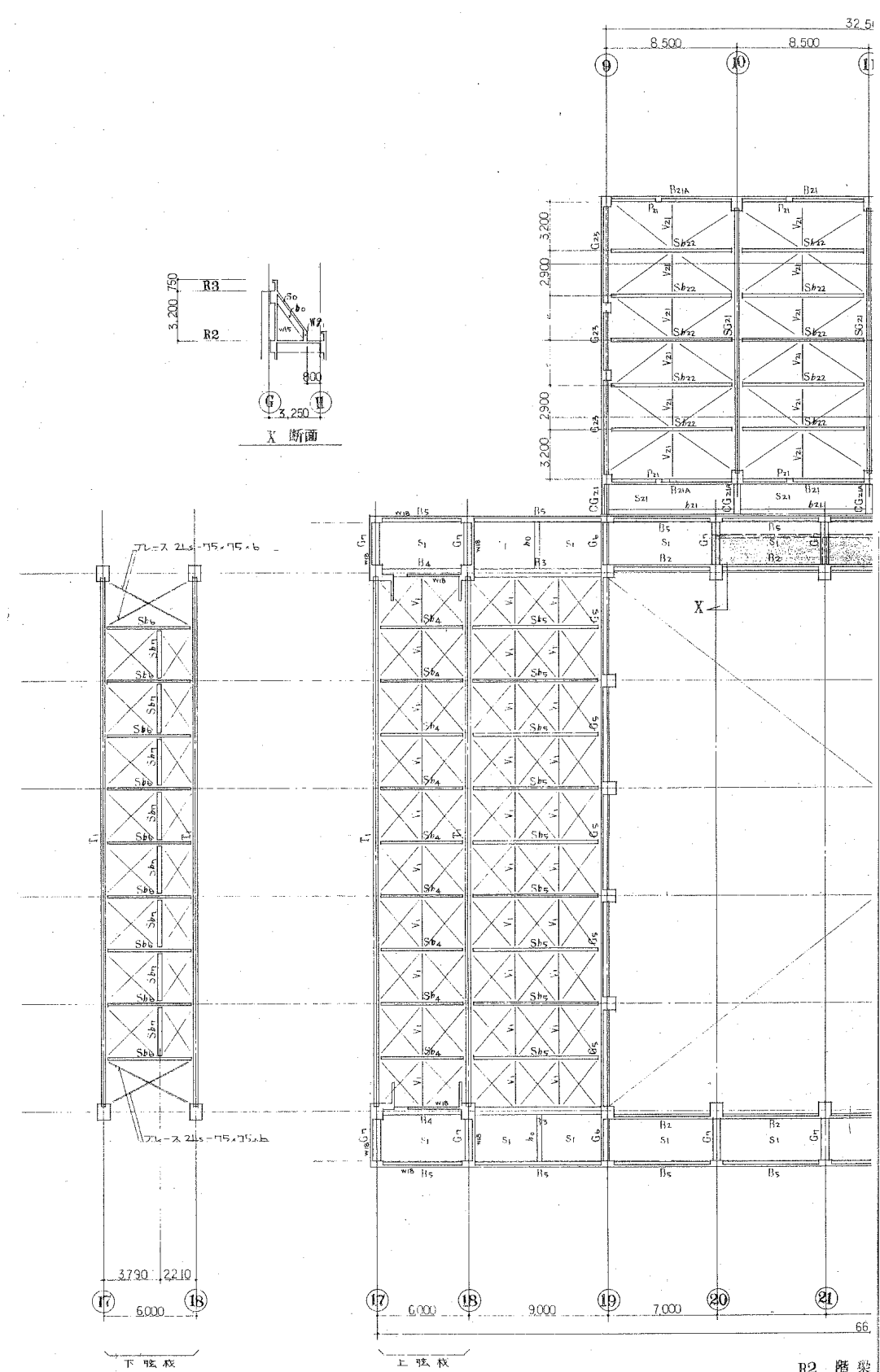
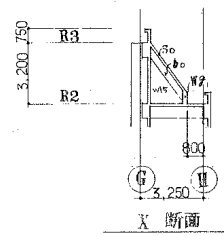


3. R1 階梁伏図 1:200

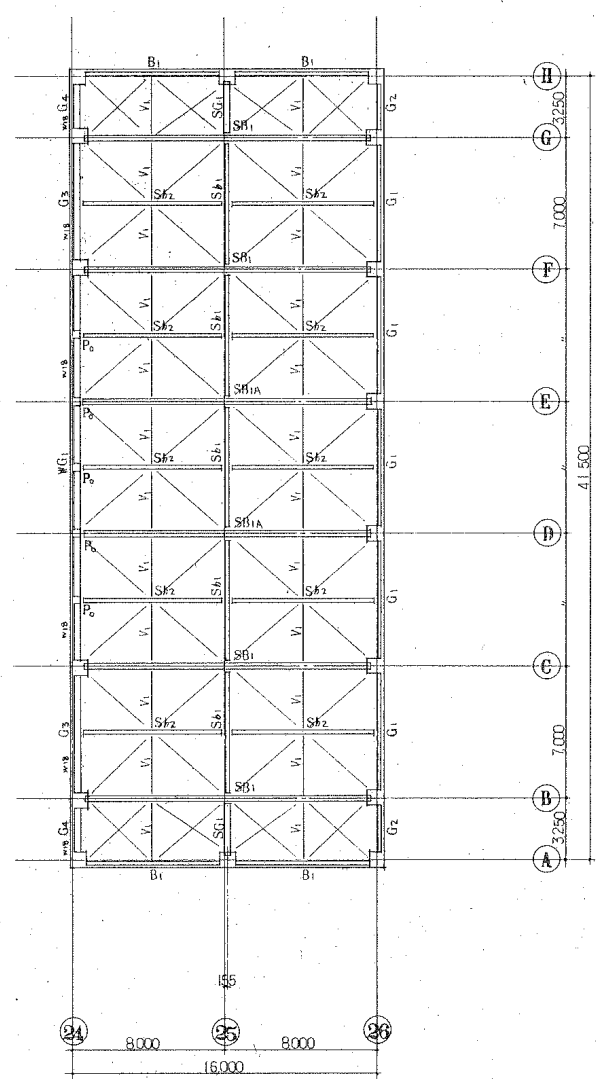
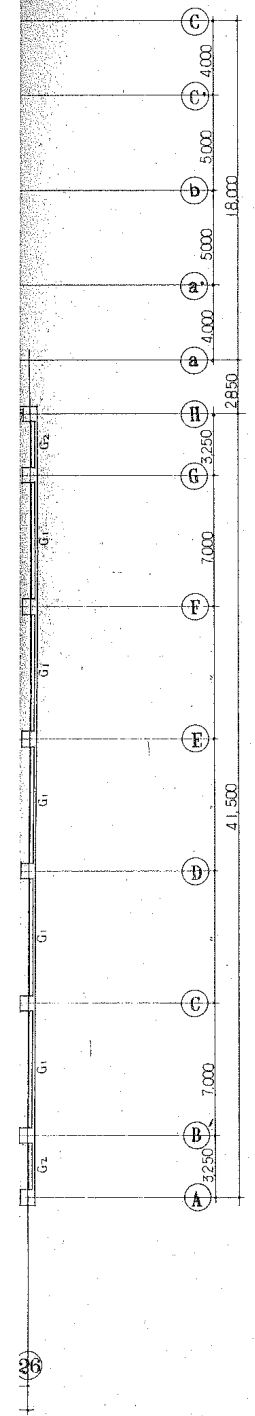
※ ホール棟は3階 管理棟はR1階梁伏、
柱・壁は2階を示す
特記なき處はW15とする



1:200
 示す
 -15.15 x b とする
 する

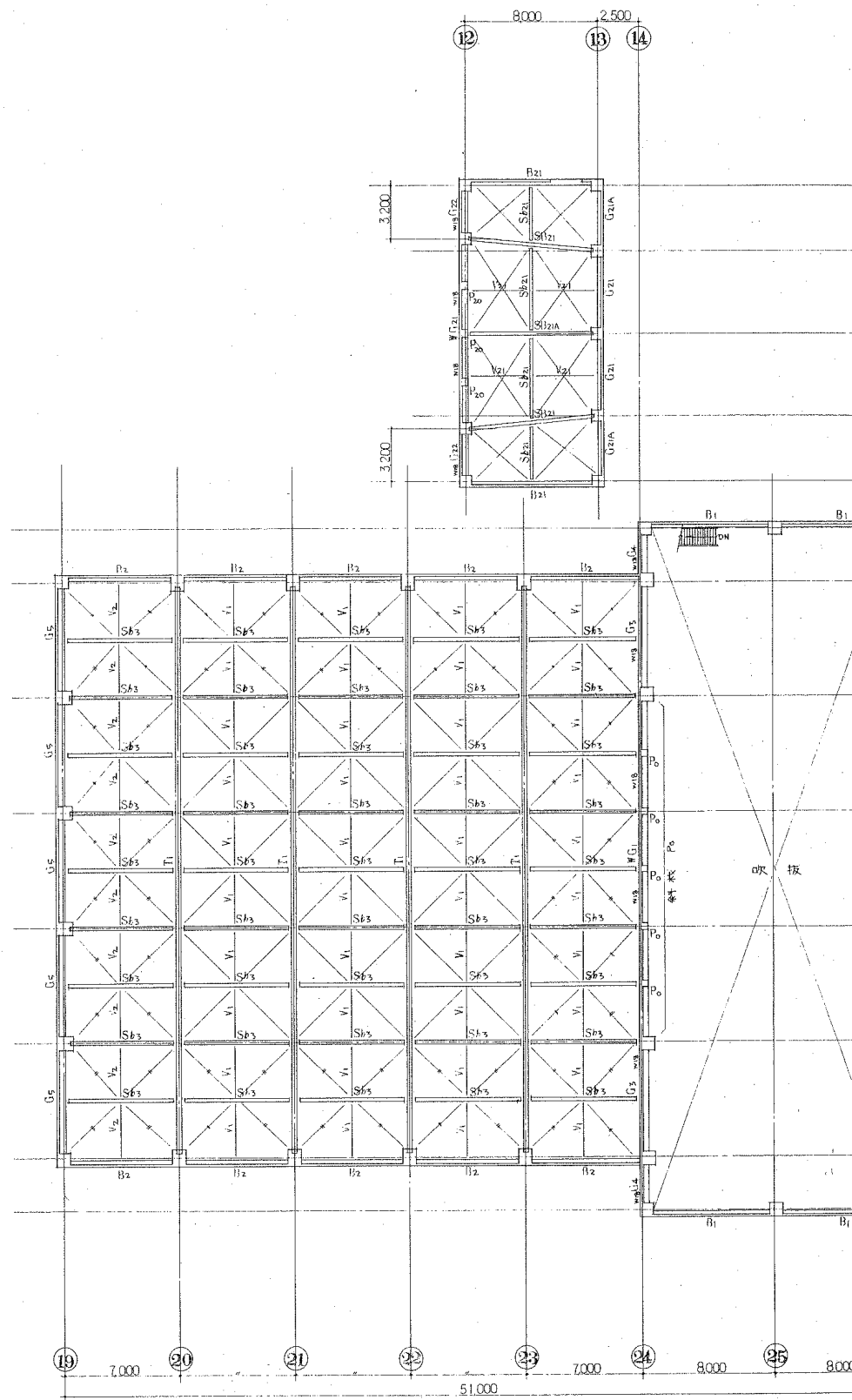


R2 階梁
 柱・壁に
 不要なフレス
 特記なき限り



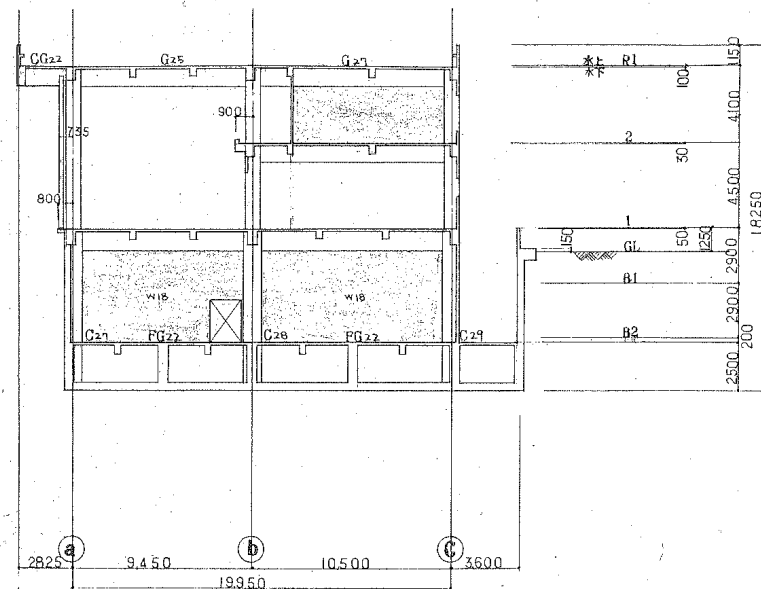
R4 階梁伏図 1:200

柱・壁は3階を示す
 壁厚は全て115とする
 マネ面 フレースは L-90×90×7とする



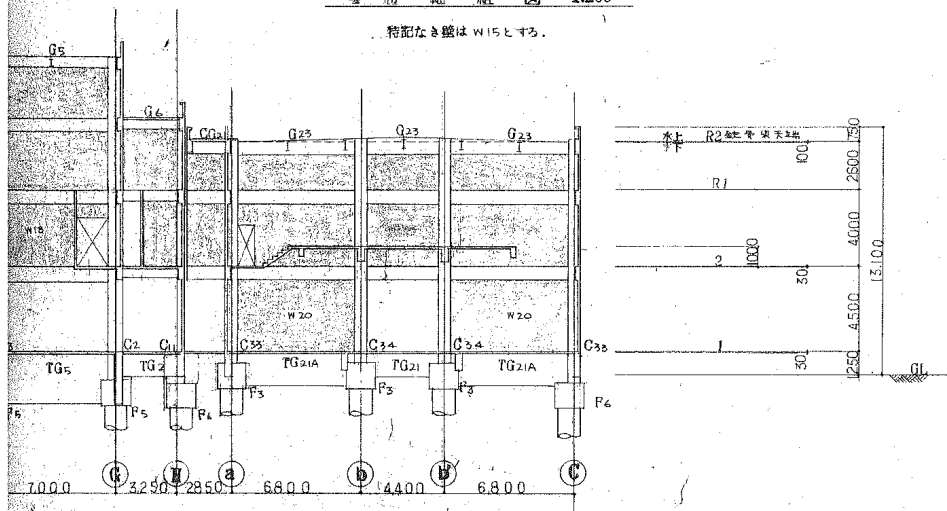
R3 階梁伏図 1:200

柱・梁は2階を示す
 階層は全々1/15とする
 ナメ面アレースは L-75 × 75 × b
 〓は L-90 × 90 × 7とする

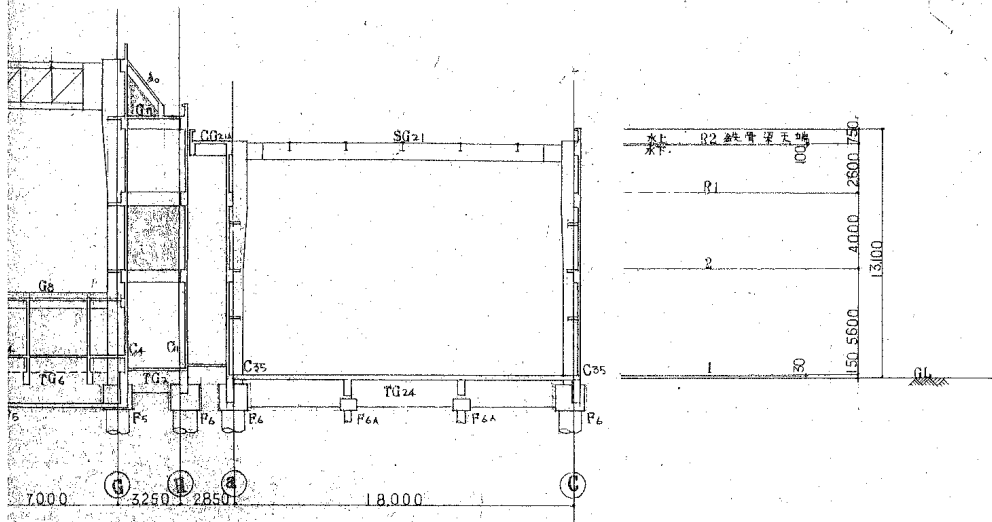


4 通軸組図 1:200

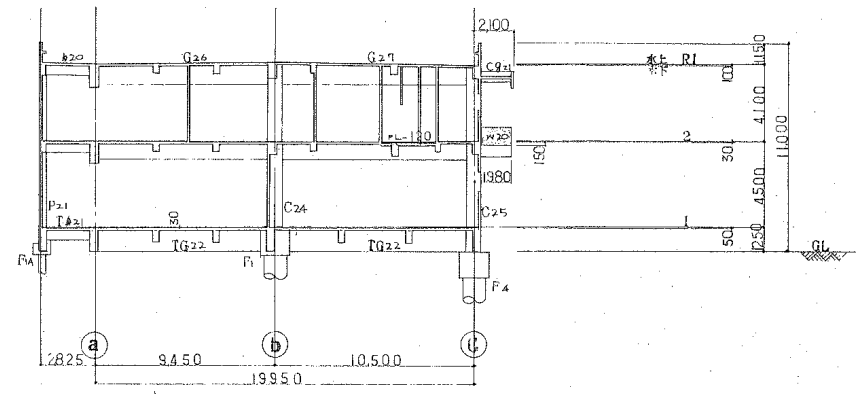
特記なき壁はW15とする。



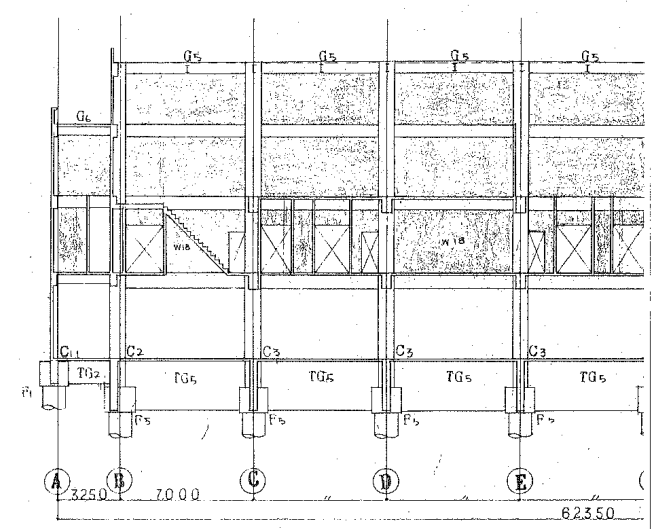
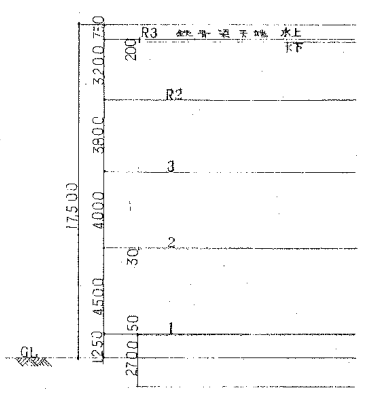
0



100

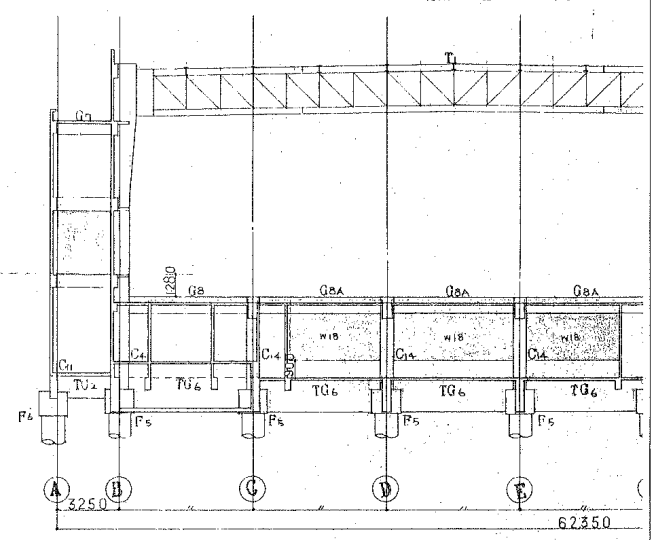
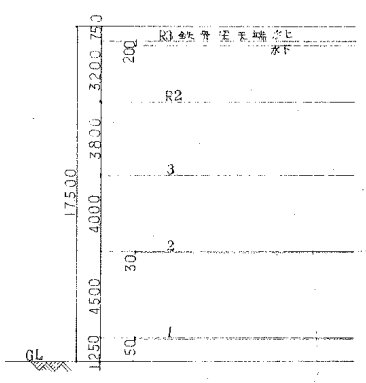


2 通軸組図 1:200



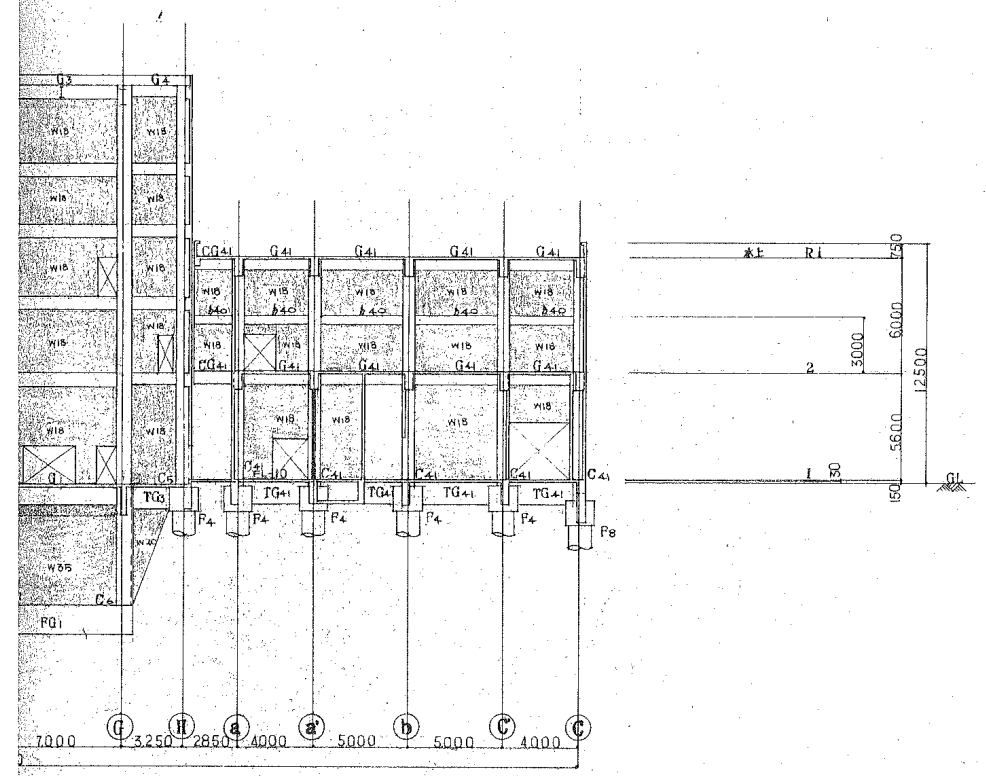
9.19 通軸組図

特別な壁はW15とする。

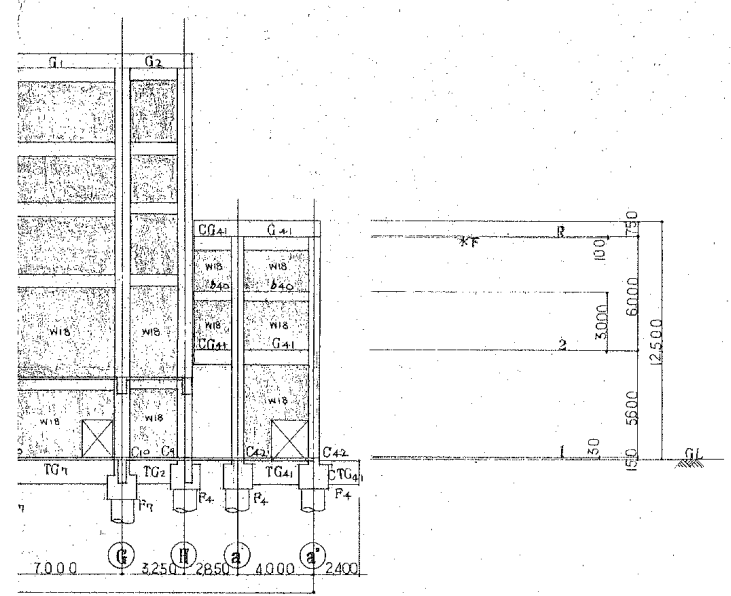


10.20 通軸組図

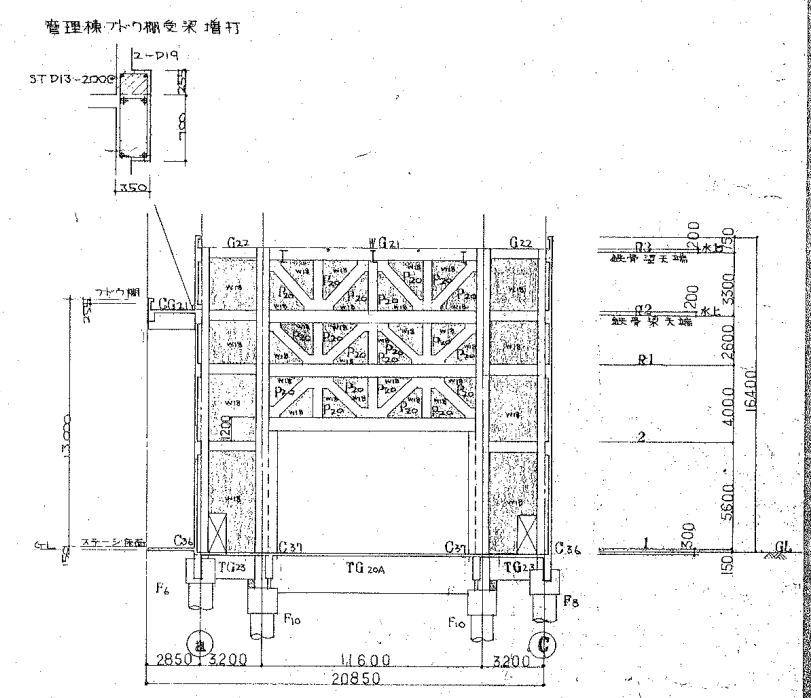
特別な壁はW15とする。



1:200



1:200



19 通軸組図 1:200

大ホールフロウ欄受梁

26層 中央・伸端

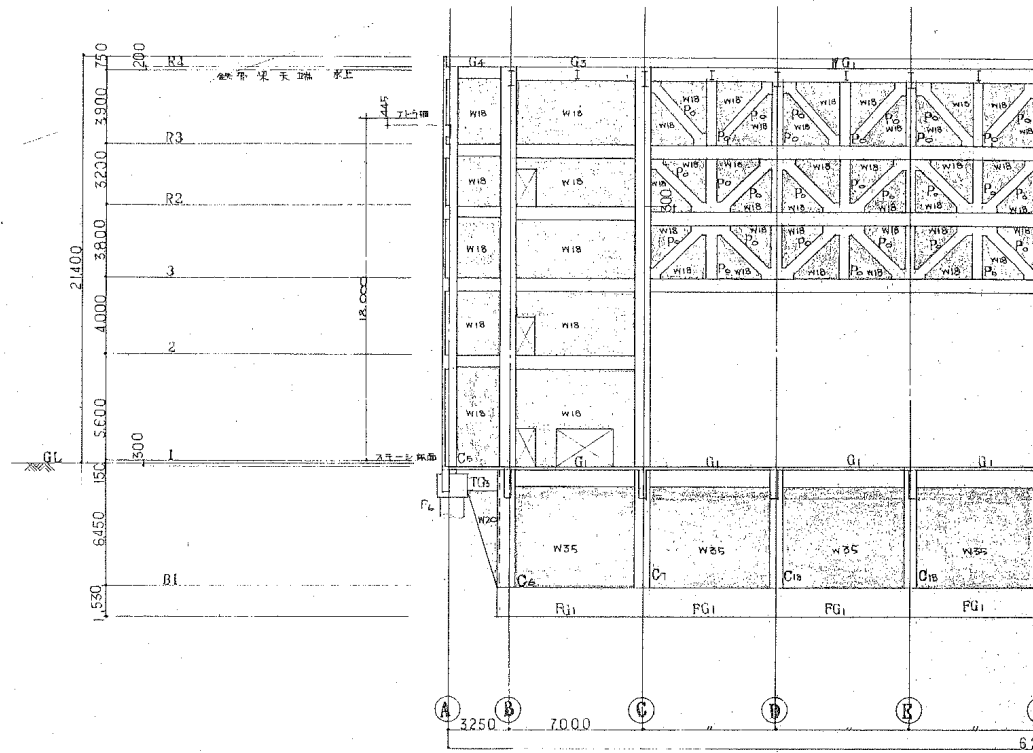
2-D25 2-D25

2-D25 2-D25

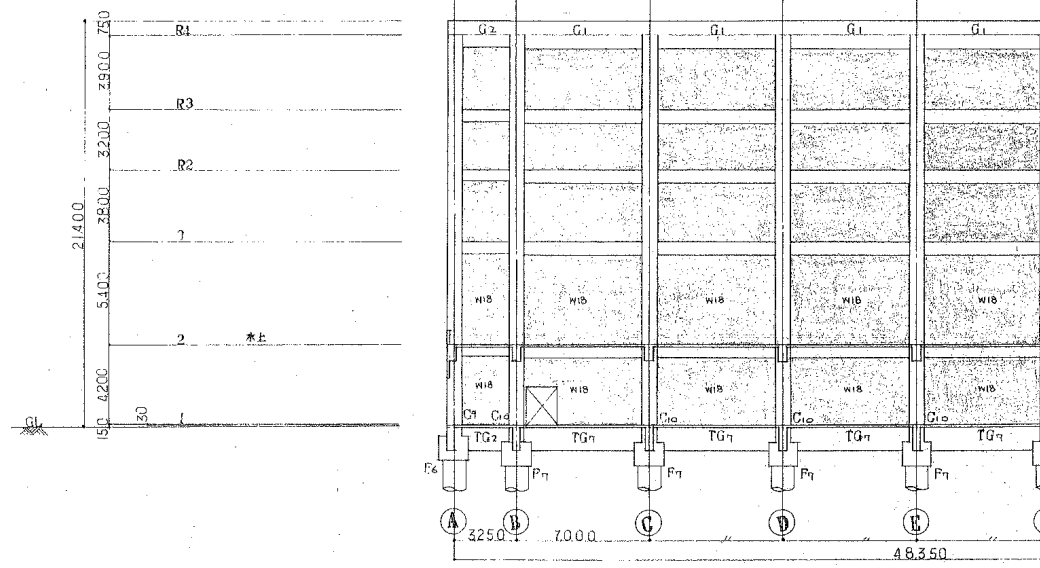
450 350

ST D10-150 @

11.7 柱間隔 L=1500

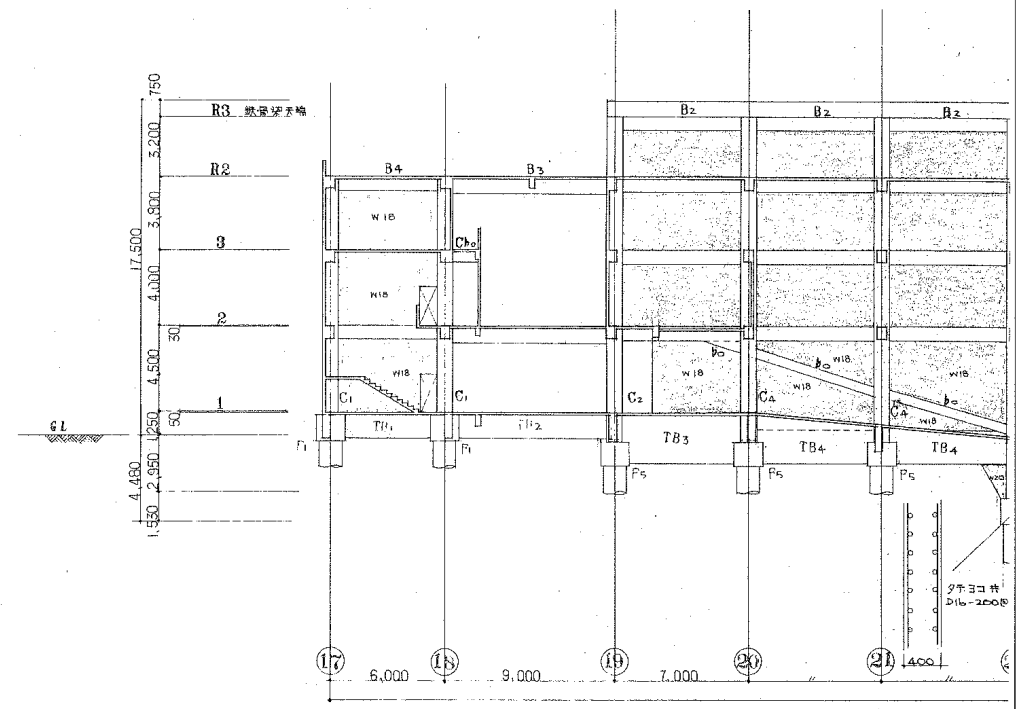


14.24 通軸組



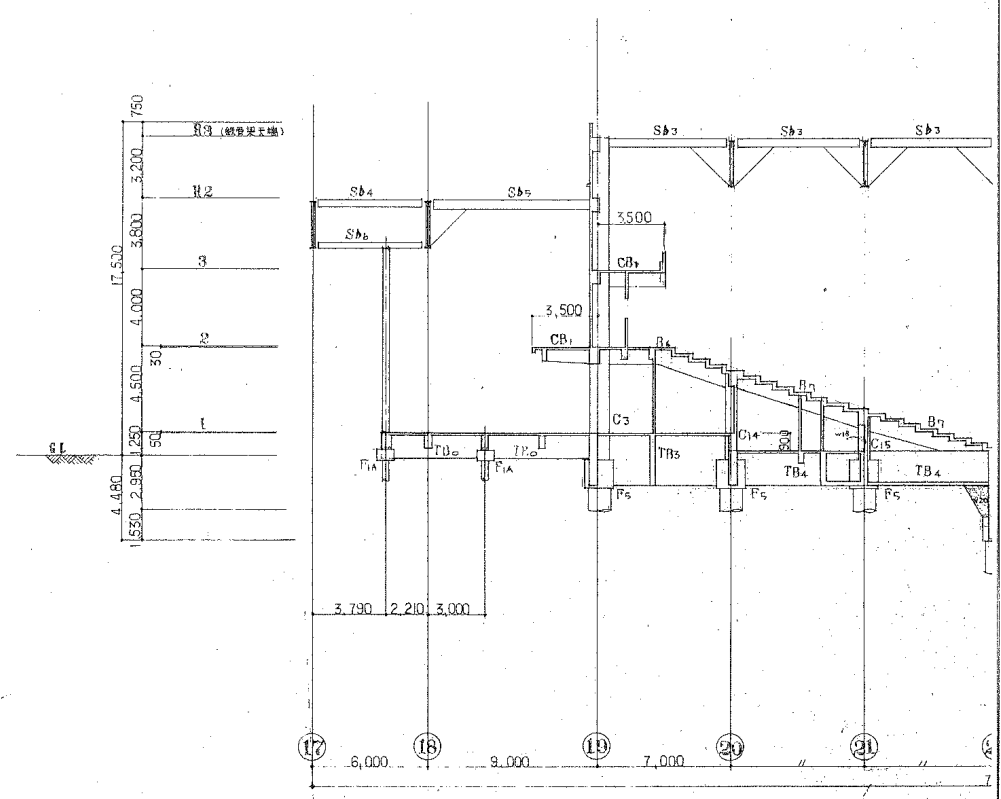
16.26 通軸組

柱間隔は W15 とする。



B 通

特製方



E 通